

**事業所名 グループホーム町屋**  
**運営推進会議開催報告書**

開催日時 2026年 2月 24日(火)		
参加者	議 題	
利用者	0名	① 行事報告
利用者家族	0名	② 行事予定
地域住民の代表者	1名	③ 身体拘束適正化検討委員会
市職員	1名	④ 質疑応答
地域包括支援センター職員	1名	⑤ 次回開催日
事業所	3名	
会 議 録		
① 行事報告		
<p>◆12月24日 クリスマス会を開催しました。昼食には、オムハヤシ、コロック、フライドポテト、かぼちゃのサラダ、ブロッコリーとシーチキンのオーロラ炒め、コンソメスープをご用意し、皆さま和やかな雰囲気の中で召し上がっておられました。おやつの中には、フルーツパイを提供させていただきました。また、サンタの帽子の中に番号が書いてあり、その番号に合わせたプレゼントをお渡しさせていただきました。「どんなプレゼントかな」と楽しみにされながら参加され、プレゼントを受け取られた際には笑顔も多く見られ、とても喜んでいただけました。(1号館)</p> <p>◆12月25日 クリスマス会を開催しました。昼食には、オムライス、カニクリームコロック、フライドポテト、ポテトサラダ、豆腐ナゲット、コーンスープをご用意し、皆さま和やかな雰囲気の中で楽しく召し上がっておられました。おやつの中には、フルーツケーキを提供させていただきました。また、箱の中から番号を引いていただき、その番号の順番でプレゼントを選んでいただきました。「どれにしようかな」と楽しみに参加され、プレゼントを受け取られた際には、たくさんの笑顔が見られ、とても喜んでいただけました。(2号館)</p> <p>◆1月1日 昼食時に、お正月の雰囲気を感じていただけるよう、おせち料理を提供いたしました。ゆっくりと味わっていただき、穏やかな新年のひとときをお過ごしいただけました。(1・2号館)</p> <p>◆1月7日 おやつに誕生日会を行いました。おやつにはプリンアラモードをお召し上がりいただき、皆さままでお祝いのひとときを過ごしていただきました。施設からは、色紙をプレゼントさせていただきました。(1号館)</p> <p>◆1月7日 おやつに誕生日会を行いました。おやつにはロールケーキを生クリーム、フルーツでデコレーションした物をお召し上がりいただき、皆さままでお祝いのひとときを過ごしていただきました。施設からは、色紙をプレゼントさせていただきました。(2号館)</p> <p>◆1月16日～19日 八王子神社へ初詣に出かけました。穏やかな冬晴れの中、皆さ</p>		

それぞれに一年の健康と平穩を願いながら、ゆっくりと参拝されました。久しぶりの外出行事ということもあり、表情も明るく、楽しい時間となりました。(1・2号館)

◆2月4日(2号館)、6日(1号館) 節分のイベントを行いました。豆まきや各利用者様に恵方巻を作ってもらい、夕食時に提供させていただきました。皆様、美味しくお召し上がりいただきました。

◆2月10日 おやつ時間に誕生日会を行いました。おやつにはプリンアラモードをお召し上がりいただき、皆さまでお祝いのひとときを過ごしていただきました。施設からは、色紙をプレゼントさせていただきました。(1号館)

◆2月17日 おやつ時間に誕生日会を行いました。おやつにはロールケーキを生クリーム、フルーツでデコレーションした物をお召し上がりいただき、皆さまでお祝いのひとときを過ごしていただきました。施設からは、色紙をプレゼントさせていただきました。(2号館)

## ② 行事予定

◆3月 ひな祭り、誕生日会

◆4月 花見、誕生日会

## ③身体拘束適正化検討委員会 「スピーチロックの原因と対策」

今回の検討内容は「スピーチロックの原因と対策」についてです。グループホームは、利用者様がその人らしく暮らす場所であり、生活の場所です。だからこそ、身体拘束だけでなく、言葉による拘束＝スピーチロックにも、職員は知識を深め、施設側は身体拘束を行わないように周知する必要があると思います。

### 【1. スピーチロックとは】

スピーチロックとは、言葉によって利用者さまの行動を制限し、心理的に抑え込んでしまうことを指します。例えば、「歩かないで!」「危ないから座って!」「トイレはまだ行かなくて大丈夫!」などがあります。

### 【2. なぜスピーチロックが起きるのか】

- ① 安全確保への不安…転倒リスクが高い利用者様が立ち上がる、動かれると、職員は転倒してほしくないために、「危ないから座って!」などの声掛けをしてしまう。
- ② 人手不足や忙しさ…ワンオペの時間や、複数の利用者様の介助が重なってしまったときに、「歩かないで!」「トイレはまだ行かなくて大丈夫!」と動きを抑制する声掛けをしやすい。
- ③ 利用者様の行動の理由が見えにくい…認知症の方は、目的や気持ちを言葉にすることが難しくなる。そのため、行動だけを見ると「なぜそうしているのか」が分かりにくいことがある。
- ④ 職員間の認識の違い…「不穩」「拒否」などの言葉に定義はあるが、職員それぞれの価値観や許容範囲によりズレが生じ、強い口調になることがある。
- ⑤ 環境の問題点…利用者様が動く動線上に障害物や物が置いてあるために 利用者様がつまずく、引っかかって転倒することが予想されるために「歩かないで!」「危ないから座って!」などの声掛けをしてしまう。

### 【3. スピーチロックを防ぐための対策】

① 言い換えの工夫…利用者様の自由や尊厳を制限してしまう言葉を、尊重を保ちながら安全も確保できる表現に置き換える。語尾を柔らかくする。

言い換え例文
歩かないで！ ➡ どうされましたか？（目的を尋ねる）
危ないから座って！ ➡ こちらに座っていただけますか。
トイレはまだ行かなくて大丈夫！ ➡ 次、トイレが空いたら行きましょう。

② 行動の理由を探る…認知症の方は、目的や気持ちを言葉にすることが難しくなり、トイレに行きたい。パットが濡れているなどの原因があり立ち上がって動き始めたとしても、職員に伝えることや表現できないことがあるので、個人の排尿周期や表情、仕草を含め職員は動き始めた背景には何があるかを考える必要がある。

③ 環境の整備…利用者様が動く動線上に障害物が少なく、物が置きっぱなしにしないなどの環境を整える。

④ 職員研修・情報共有…月に1回の施設会議や声掛けの仕方についてはその都度、何故言っではダメなのかの説明、言い換えの例を教えることで周知していくことが必要である。

### 【4. まとめ】

スピーチロックは悪意から生まれるものではなく、利用者様を守りたい気 持ちから、とっさに出てしまうことがあります。しかしながら、スピーチロックで動きを抑制すると、本人が抱えている不安・痛み・要求が表に出なくなります。結果として、問題の早期発見が遅れ、認知症の進行やBPSDにつながることもあります。次に、「話しても否定される」「聞いてもらえない」と感じると、職員への不信感が強まります。逆に、話を受け止めてもらえると安心し、ケアがスムーズになることもあります。また、スピーチロックは一時的に静かになるように見えても、後で不安や怒りが強く出ることがあります。結果として、対応が難しくなり、職員のストレスや対応することが増えていきます。だからこそ、どう声をかければその人らしさを守れるかを、これからも職員で考え知識を周知し、スピーチロックを行わない介護をする必要があると思います。

#### ④ 質疑応答

##### ◆ やすらぎ地域包括支援センター様

- ・スピーチロックについて月1回の会議やその都度話し合われているのですね。
- ・不穏や拒否がある時の対応はどうされていますか？  
→ 声掛けの仕方や、職員を変えて対応する、話題を変えて対応する、散歩で気分転換をするなどしております。利用者様の生活状況や行動傾向を把握し、不穏になる前に対応するように心掛けております。

##### ◆ 瀬戸市役所様

- ・初詣へは、どのように行かれましたか？  
→ 数名ずつ、数日に分けて車で移動しました。
- ・正月に提供されたお節料理は頼まれたものですか？

→業者に発注し提供しております。

- 機能訓練はどのようにしておりますか？

→毎日、食事前の体操（昼・夕）を15分程度行っています。町屋には機能訓練士がいません。町屋では、生活リハビリを行っています。生活リハビリとは、洗濯干しや畳み、家事活動で体を動かすことや、トイレに歩いていくことも生活リハビリの一つとして捉えています。その中で、日常的に体を動かしADLの低下を防げたらと思います。その他には、散歩も行っております。

- 「拒否」とは職員側の言葉によるものだと知ることができました。

#### ◆地域住民代表者様

- 運営推進会議は何のために開催しているのですか？

→地域に開かれた施設作りを大切にするため、2か月に1回運営推進会議を開催しています。これは、地域密着型サービスである、認知症対応型共同生活介護の法令で定められている取り組みの一つです。

- 興味のある方は誰でも参加することができますか？

→参加者は、ご家族様、地域住民代表、民生委員、地域包括支援センター職員、市区町村担当者などで構成され、外部の視点からご意見や助言をいただいています。興味のある方がいらっしゃいましたら、紹介して下さい。

#### ⑤次回開催日

◆2026年4月28日（火） 14:00～